検定統計量

		平均値	分散
基準値との比較（一つの母集団）	分散既知	$u_0 = \frac{\bar{x}-\mu_0}{\sqrt{\sigma^2/n}}$	$\chi_0^2 = \frac{S}{\sigma^2}$
	分散未知	$t_0 = \frac{\bar{x}-\mu_0}{\sqrt{V/n}}$	
二つの母集団の比較	分散未知	■ $\sigma_1^2 = \sigma_2^2$ と考えられる場合（t 検定） $t_0 = \frac{\bar{x}_1 - \bar{x}_2}{\sqrt{V\left(\frac{1}{n_1}+\frac{1}{n_2}\right)}}$ ■ $\sigma_1^2 = \sigma_2^2$ かどうか不明な場合（ウェルチの検定） $t_0 = \frac{\bar{x}_1 - \bar{x}_2}{\sqrt{\frac{V_1}{n_1}+\frac{V_2}{n_2}}}$ ■対応がある場合 $t_0 = \frac{\bar{d}}{\sqrt{\frac{V_d}{n}}}$	●分散比の検定 ■両側検定（等分散性の検定） $F = \frac{V_1}{V_2}$　または　$F = \frac{V_2}{V_1}$ （大きいV が分子となる） ■片側検定（ $H_1 : \sigma_1^2 > \sigma_2^2$ ） $F = \frac{V_1}{V_2}$ ■片側検定（ $H_1 : \sigma_1^2 < \sigma_2^2$ ） $F = \frac{V_2}{V_1}$